

WWF ジャパンの会報紙で、王子グループのFSC®への取り組みが、現地取材を中心に、詳しく紹介されました。



責任ある森林管理のマーク



欧米ではすでに広く、流通企業や一般消費者の間に“FSC®のマークが入った製品を選ぶ習慣”が浸透していますが、日本ではまだまだこれからの段階です。王子グループの一員である王子ネピアでは、紙製品のメーカーとしての責任のもと、「ネピアクオリティ」の姿勢を徹底して、日々の暮らしに欠かせないティッシュやトイレットロールに、いち早くFSC®認証紙を採用して、自然環境や地域社会の利益に配慮したものづくりを続けています。今回、FSC®の普及に取り組むWWFジャパンの会報誌上で詳しく紹介されたことを機に、王子ネピアはこれからも一層、「環境品質」の向上に努め、消費者のみなさまの期待に応えてまいります。

特集 FEATURE

ゼロにはできない消費

「FSC」の認証を受けた木材は、日本の国土面積の約5%に相当する約10万ヘクタール、セブシブシ社、これに、ちょうど昨年と同じくらい5%の成長にあたる約25万ヘクタールの土地を投資しています。しかし、森林は自然資源の有限なものであるという前提で、この半分程度は、適切な管理の下で、持続可能な形で利用されています。また、残りの半分は、適切な管理の下で、持続可能な形で利用されています。また、残りの半分は、適切な管理の下で、持続可能な形で利用されています。

広大なFSC認証林

それは、「責任ある森林管理」の認証を受けた木材は、日本の国土面積の約5%に相当する約10万ヘクタール、セブシブシ社、これに、ちょうど昨年と同じくらい5%の成長にあたる約25万ヘクタールの土地を投資しています。しかし、森林は自然資源の有限なものであるという前提で、この半分程度は、適切な管理の下で、持続可能な形で利用されています。

「森を守る」と同じく、どんな活動も「森を守りますか?」多くの場合、森林の保護を減らしたり、質的に劣化させたり、という活動を減らすだけでいいでしょう。でも、私たちはその活動をやめたいのです。私たちは、森林を守りたいのです。私たちは、森林を守りたいのです。

特集 FEATURE

コラム 証書

責任ある森林管理

責任ある森林管理とは、森林資源を持続的に利用し、生態系を保護し、地域社会の利益に配慮したものであります。王子ネピアは、責任ある森林管理の認証を受けた木材を使用し、環境に配慮した製品を提供しています。また、残りの半分は、適切な管理の下で、持続可能な形で利用されています。

責任ある森林管理とは、森林資源を持続的に利用し、生態系を保護し、地域社会の利益に配慮したものであります。王子ネピアは、責任ある森林管理の認証を受けた木材を使用し、環境に配慮した製品を提供しています。

責任ある森林管理とは、森林資源を持続的に利用し、生態系を保護し、地域社会の利益に配慮したものであります。王子ネピアは、責任ある森林管理の認証を受けた木材を使用し、環境に配慮した製品を提供しています。